

令和5年度 **事業者向け** 放課後等サービス事業所はばたき 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	0	0	・十分な広さがあり、子どもの状況に応じて個室を準備して対応することもあります。
	②	職員の配置数は適切であるか	9	0	0	・人員基準以上の人数を配置し支援を行っています。必要に応じて外部に支援要請することがあります。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	0	0	・施設はバリアフリー設計となっています。年1回ご利用者様からご意見を頂き、頂いた意見を基に改善工夫を行っています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	9	0	0	・事業所内で出た意見は職員間で共有し、かつ、法人でも共有し全体で改善に努めています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	0	0	・年1回アンケート調査を実施し、保護者の意見を把握し改善に努めています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	0	0	・法人のホームページで公開しています。また、放課後等デイサービス専用LINE及びHUGで周知していきます。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	9	・第三者評価は行っていませんが、運営委員会で報告し、助言等受け業務改善に努めています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	0	0	・オンライン及びオフライン研修により、すべての職員が年に2回以上参加しています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	0	0	・保護者よりニーズの確認やアセスメントを行い、職員全体で個々の課題や目標を把握し、計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	1	0	・定期的に保護者からの基本情報を加筆・修正し、子どもの現状にあった支援を提供しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	0	0	・毎日職員間でミーティングを行い、子どもに合わせた活動を計画しています。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	0	0	・利用している子ども一人ひとりの課題に沿ったプログラムの立案に努め、楽しみながら課題に取り組めるよう工夫しています。また、季節を感じられる行事や体験、保護者が子どもの成長を感じられるような活動を取り入れています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	9	0	0	・平日や土曜日、長期休みはそれぞれ違う活動を行っています。長い利用時間の時には、新たにBBAT（ボディー・ブレイン・アクティブ・タイム）という時間を設け、全体で体を動かしたり、体の使い方、考える力が養えるよう工夫しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	0	0	・個別での学びが集団の中で実践できるよう練習の場を集団活動に取り入れ、学習と実践が結びつくような計画を作成しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	0	0	・午前中と支援開始前の2回、打ち合わせを行い、役割分担や情報共有の場を設けています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	1	0	・個人記録や日誌を活用し、子どもの様子や支援について振り返ることで情報共有を行っています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	0	0	・HUGを活用し、改善点や検証、検討事項を職員間で共有しています。（HUG：放デイに特化したシステム）
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9	0	0	・ケース会議やモニタリングを行い、定期的に支援の見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	9	0	0	・子どもの特性等を考慮しながら基本活動に沿った活動を提供しています。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	0	0	・主に児童発達支援管理責任者が出席しています。また、児童の状況をよく知っている職員が出席する場合もあります。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	9	0	0	・定期的に学校に訪問したり、電話や会議等で児童の状況を共有しています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	0	9	・職員体制上、医療的ケア児の受け入れは行っていません。体調面について気を付ける点がある場合は、保護者を通じて主治医からの指示に従って対応しています。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	9	0	0	・就学前に保育所等に訪問し、情報共有に努めました。また、就学後も保育所等訪問支援を受け、適切な支援を提供できるよう協働しています。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	9	0	0	・必要に応じて、担当相談員等へ情報提供を行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	2	0	・児童発達支援センター、発達障害者支援センターの主催している研修には参加していませんが、医療機関や関係機関の主催している研修に参加しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	3	1	・児童館には出向いていますが、行ける時期（天候、職員数など）が限られているため、地域の子どもと関わる機会は少なかったです。HUG等を活用し、保護者に活動していることが周知できるよう努めます。また、職員に対しても統一した認識ができるよう徹底していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	9	0	0	・療育支援部会主催の研修に参加し、情報共有や課題の把握をしています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	0	0	・受け入れやお迎え時に、子どもの様子について伝え合い情報共有を行っています。HUG上でも児童の様子を文章や写真で保護者の方に見ていただいています。(HUG：放デイに特化したシステム)
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	0	9	・ペアトシは行っていませんが、支援の中でうまくいった関わり方や考えを保護者へ伝えるようにしています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	0	0	・契約時や変更があった時等、その都度説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	0	0	・保護者の方からの相談に対して、職員間で情報共有をするとともに、関係機関にも情報提供し、協議した上で助言や支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	6	1	・現在当事業所では行っていませんが、館内の部屋の貸し出しを行っています。保護者の皆さんが気軽に集える場所の提供等、支援させていただきたいと考えています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	0	0	・保護者の方からの苦情等はございませんでした。ご意見等が聞かれた際は、苦情受付担当者がお話を伺います。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	0	0	・年間行事予定表や活動報告（はばたきっす新聞）を掲示し、事業所専用LINEを活用して、随時お知らせしています。
	35	個人情報に十分注意しているか	9	0	0	・外部への情報共有や活動報告等の情報発信の際に個人情報を取り扱う場合は、保護者の方にご相談させていただいております。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	⑳	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	0	0	・子どもの特性に合わせたコミュニケーションツールを選択し、日々の支援で活用しています。
	㉑	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	9	0	0	・年に1度、はばたきマルシェを開催し、ご利用されている子どもや保護者の方から足を運んでいただいております。また、地域住民の方からも来ていただき、事業所の活動内容等を知っていただく機会となっております。
非常時等の対応	㉒	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8	1	0	マニュアルは策定し、職員全体で研修や訓練を行い周知に努めています。
	㉓	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	0	0	・日々の活動の中でも訓練を取り入れた内容を行っており、子どもにも訓練で行ったことが定着してきていると感じています。訓練での反省点を職員間で検討し、訓練を行うことで、災害に備えていきます。
	㉔	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	0	0	・毎年虐待防止の研修に全職員が参加し、適切な支援を行えるように意識づけを行っています。
	㉕	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	9	0	0	・重要事項説明書には身体拘束を行う場合の対応について明記し、説明を行っておりますが、当事業所では身体拘束は行っていません。
	㉖	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	1	0	・医師から助言を受けた保護者から、情報をいただき、それに基づいて対応を行っています。
	㉗	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	0	0	・ヒヤリハット、事故報告書作成した場合は事業所全体と法人本部にも回覧し、全職員で共有を図っています。また、定期的に事故対策防止委員会を開催し、事故防止に努めています。

●事業所全体評価

- ・地域の子供たちとの交流ができるように、児童館に行く機会を増やします。
- ・苦情をいただいたことがなく、保護者の方には対応の流れが分かり辛い状況でした。事業所で行われている苦情対応については、重要事項説明書を通して改めてお伝えしていきます。
- ・避難訓練等は、子供の特性に応じて実施する曜日や時間帯を決めていましたが、今後は多く子供に参加していただけるよう日程調整を行っていきます。また、実施後は放課後等デイサービス専用LINEや活動報告（はばたきず新聞）などを活用してご報告いたします。

以上を改善及び強化すべき点ととらえ、今後の運営に活かしてまいります。

放課後等デイサービス事業所はばたき